

「テロ等準備罪」についての報道検証の一端



3月21日、「テロ等準備罪」の新設を含む組織犯罪防止法改正案が国会に提出されましたが、この時期は森友問題と豊洲問題がテレビ報道を席卷していました。

例えば当会の調べで、3月20日から26日までのTBSの報道において、「森友学園」を扱った時間は約18時間52分でしたが、テロ等準備罪を扱った時間は約33分にとどまりました。

そんな中でも、まとまった時間を使って「テロ等準備罪」について説明した番組が一部ありましたので、その内容を調べて見ました。

3月26日サンデーモーニングでは「風を読む」のコーナーで約14分をかけて「テロ等準備罪」を取り上げ解説及び議論が行われました。

VTRでは、戦前の治安維持法との類似性と危険性を指摘。賛成の識者も登場しますが、全体に「危険性」を強調する編集になっています。スタジオでの議論は、ほぼ「反対」一辺倒であったと言えるでしょう。

一方、3月21日のNHK「ニュースウォッチ9」でも「テロ等準備罪」について約14分半に渡り特集を放送しました。その中では法案自体について明瞭に図説しながら、政府が強調する必要性とメリット、それに対する野党の反論を伝え、識者の意見も賛否を伝えていました。

当会ではこの「テロ等準備罪」については特に注目して引き続き報道をチェックしてまいります。